

令和6年度
日田市男女共同参画に関する
意識調査報告書

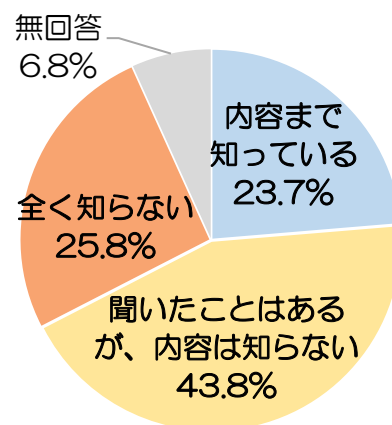
概要版

「男女共同参画社会」

という言葉を知っていますか？

男女共同参画社会とは、

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成する」ことを言います（男女共同参画社会基本法第2条より）。



資料：令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査（n=473）

調査の理由

市民の皆様の家庭生活・職場・社会活動等の様々な場面における男女の意識や実態を把握し、第3期日田市男女共同参画基本計画（第二次行動計画）の基礎資料に活用することを目的として、令和6（2024）年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査を行いました。

調査の概要

- 調査対象：日田市内に居住する満16歳以上の市民（令和6年4月1日時点）1,700人
- 調査方法：郵送配布、郵送/WEB回収
- 調査期間：令和6年7月10日（発送）～7月31日（回答締切）
- 回収率：473件（郵送374件/WEB99件）
- 回収率：27.8%



第3期日田市男女共同参画基本計画

日田市では、男女共同参画推進施策を計画的に実施し、男女共同参画社会の実現を目指すため、第3期日田市男女共同参画基本計画を策定しています。

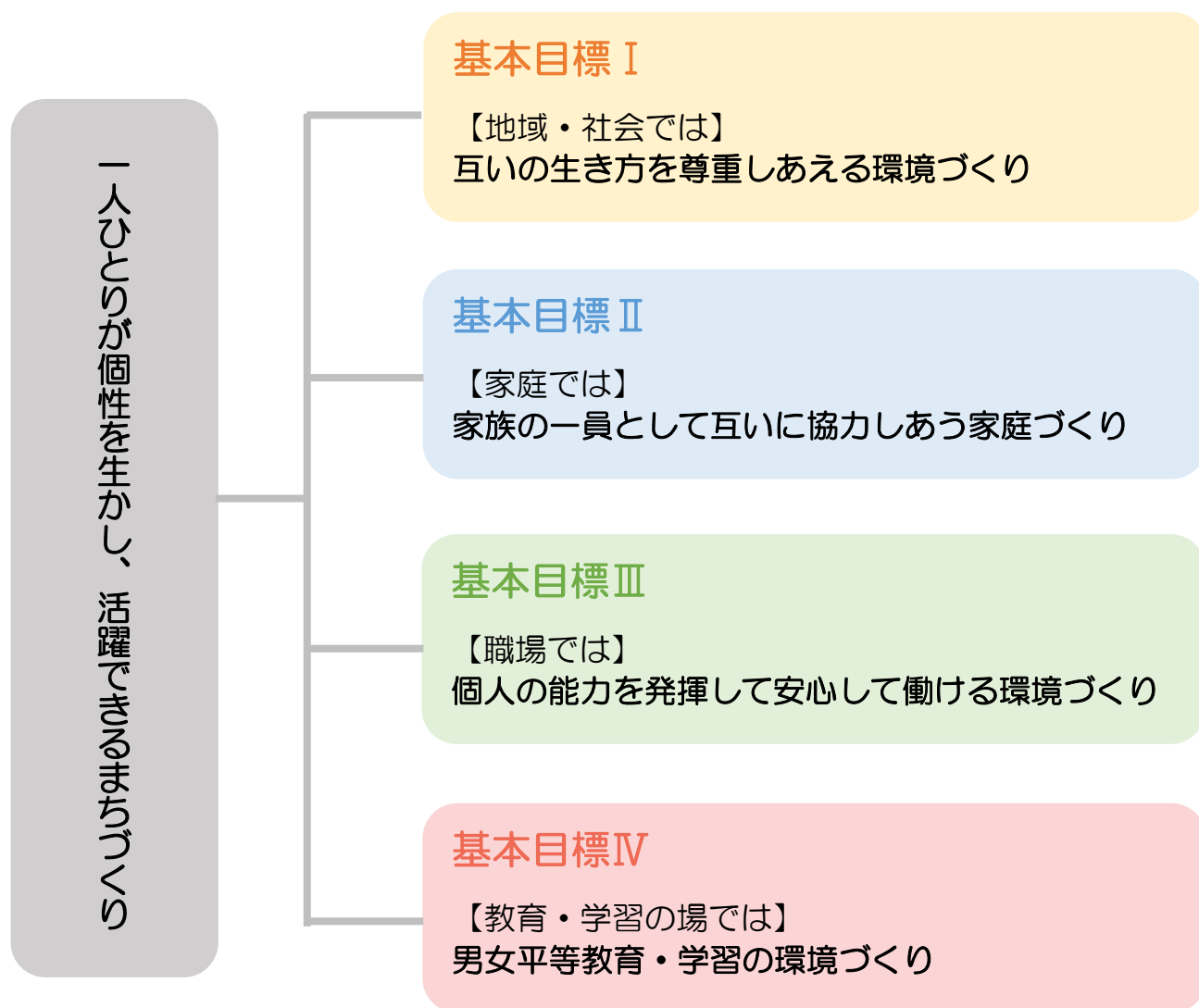
この計画の期間は10年間とし、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までを第一次行動計画、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までを第二次行動計画としています。

第3期日田市男女共同参画基本計画（R3～R12年の10年間）

第一次行動計画
（R3～R7年の5年間）

第二次行動計画
（R8～R12年の5年間）

計画の基本目標



基本目標Ⅰ

【地域・社会では】

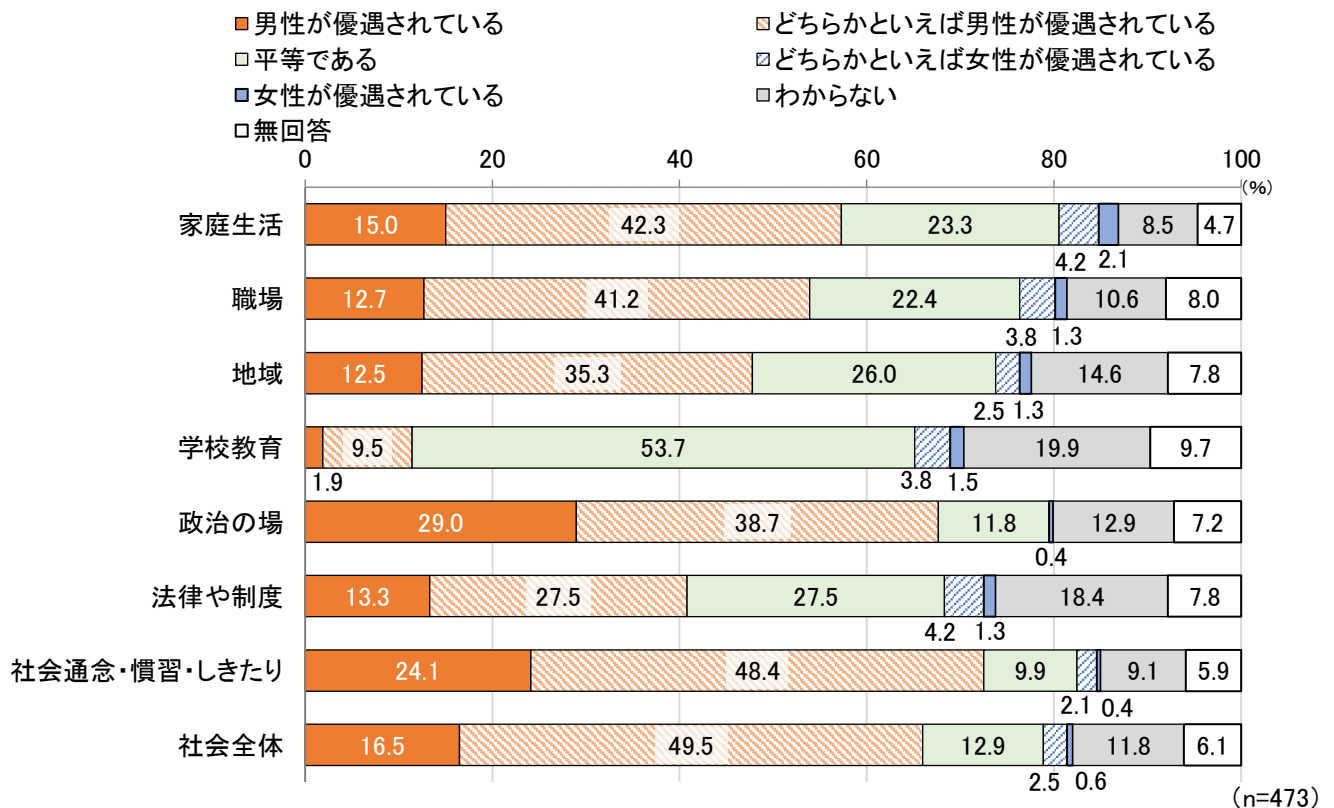
互いの生き方を尊重しあえる環境づくり

男女の平等感について、分野別でみると「学校教育」のみ平等と感じる回答が5割を超えています。その他ではいずれも男性が優遇されていると感じる割合が高くなっています。

特に、「政治の場」、「社会通念・慣習・しきたり」、「社会全体」においては6割以上が、男性が優遇されていると感じています。地域においては、「男性が主となって催し物の企画や役員などを決定する」といった状況から、集まり等に男女共同で参加しにくいと感じる人がいるという現状があります。

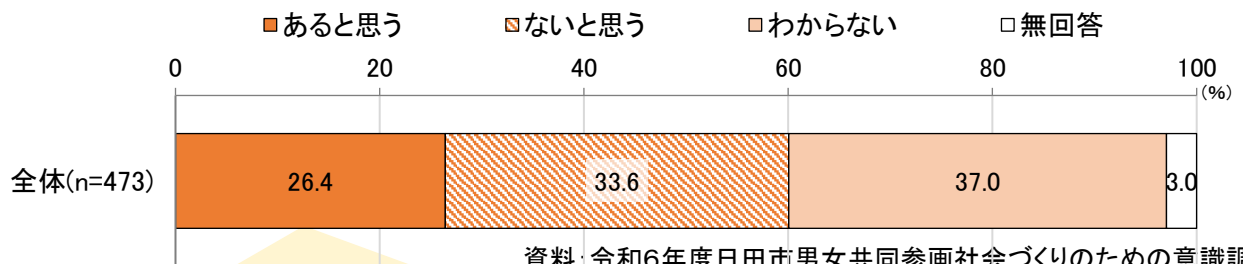
性別にとらわれずに、一人ひとりが能力を発揮し、生き生きと活躍できるまちづくりが重要です。

各分野での男女の地位の平等感



資料：令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査

地域等の集まりにおいて男女共同で参加しにくい雰囲気や状況



【参加しにくい具体的な状況〈上位2つ〉】（「あると思う」と回答した方 n=125）

1. 男性が主となって催し物の企画や役員などを決定する：52.0%
2. 男性が中心となっている活動と女性が中心となっている活動に分かれている：44.0%

基本目標Ⅱ

【家庭では】

家族の一員として互いに協力しあう家庭づくり

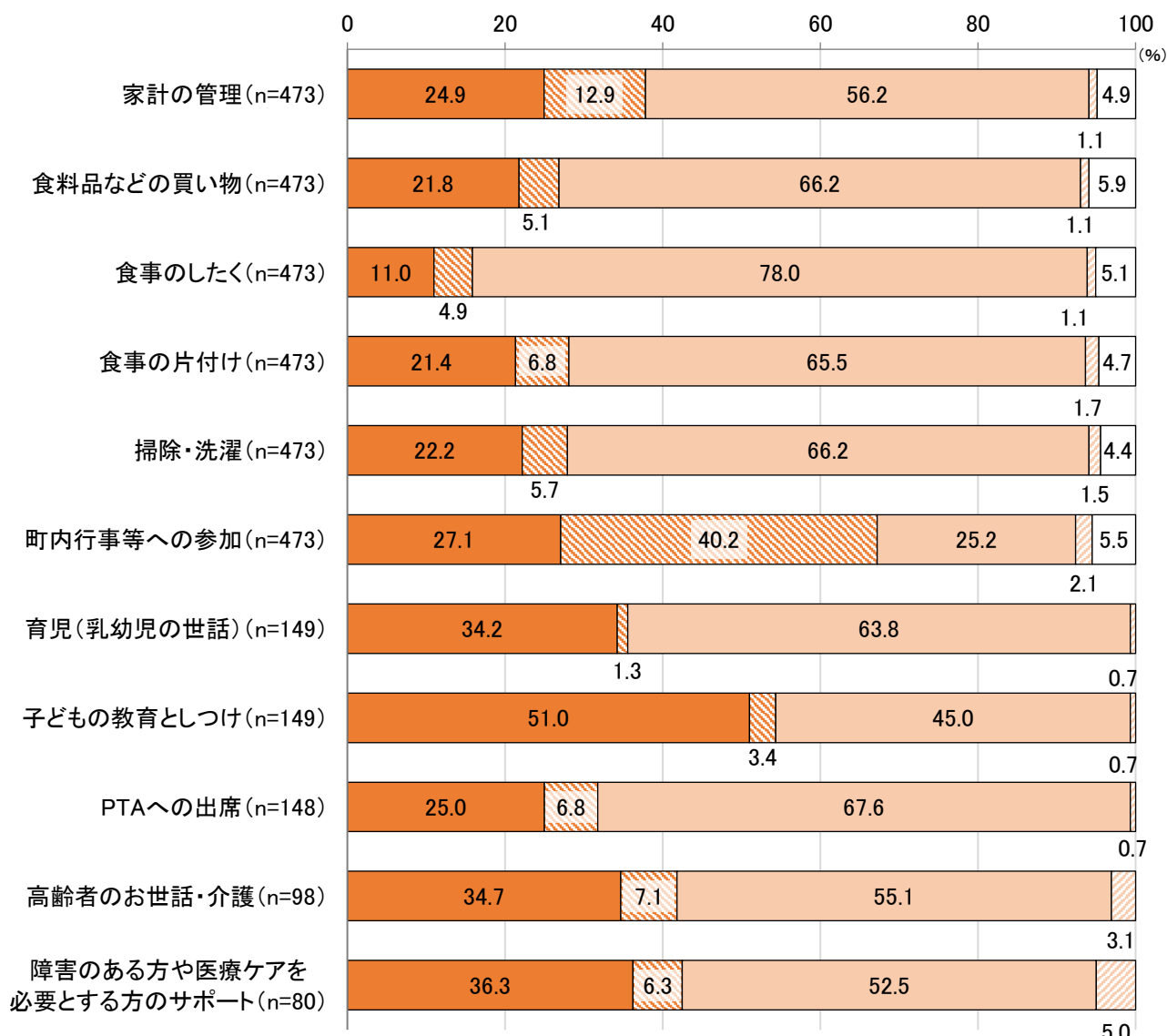
家庭での役割分担の状況をみると、家事や育児、介護などは女性が主に負担している状況にあることがわかります。

特に、「食事のしたく」については「主に女性」の割合が7割を超えているのに対して、「町内行事への参加」においては「主に男性」の割合が高くなっています。

男女が共に家事等に携わり、地域活動等にも参加しやすい環境づくりが必要です。

家庭での役割分担の状況

■男女(夫婦・両親等)で協力 ■主に男性 ■主に女性 ■その他の家族 □無回答



資料: 令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査



家族で楽しく過ごせるように、
家のこともみんなで協力しましょう！



基本目標Ⅲ

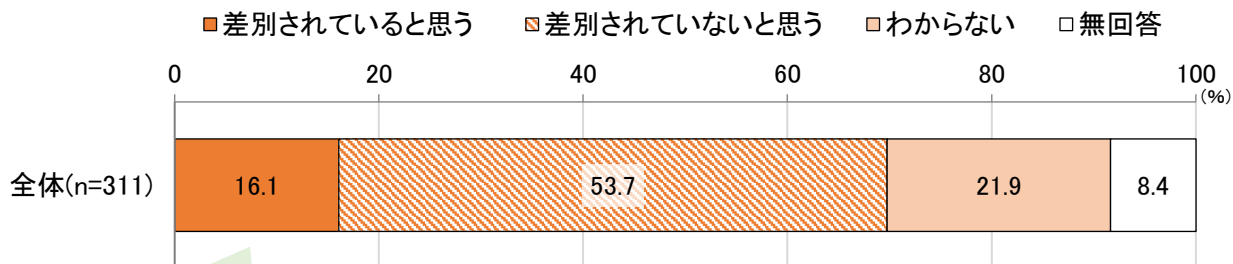
【職場では】

個人の能力を発揮して安心して働ける職場づくり

職場での女性の就労環境について、賃金や昇進・昇格等の面で、職場における女性への冷遇が一定数存在していることがわかります。性別による差別を受けることなく、個人の能力を発揮して平等な立場で働くことができる職場環境づくりが重要です。

また、仕事と家庭生活の両立のためには、性別役割分担意識の解消や就労の場においては、労働環境の整備を図るなどの対応が必要です。

職場での女性への差別



資料: 令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査

【具体的な差別の内容〈上位2つ〉】

(「差別されていると思う」と回答した方 n=50)

1. 賃金に格差がある: 56.0%
2. 昇進・昇格に差別がある: 30.0%

人材確保のためにも、
男性も女性も働きやすい
環境をつくりましょう！

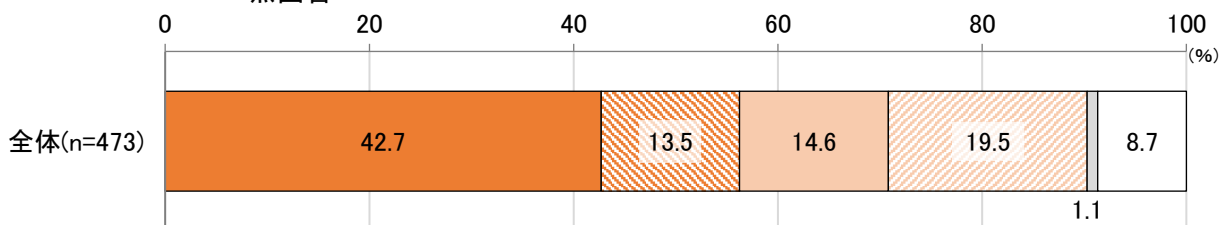


ワーク・ライフ・バランス

「仕事」と「仕事以外の家庭生活」の両方を大切にしようという考え方

仕事と家庭生活の両立に必要なこと

- 男女が共に家事・育児・介護などの家庭生活を協力しあう
- 育児や介護のための支援施設やサービスの充実
- 男女が共に育児・介護休業を取りやすい環境づくり
- 週休二日制や労働時間の短縮など、多様で柔軟な働き方を推進する
- その他
- 無回答



資料: 令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査



仕事も生活もめいっぱい楽しめる
社会を目指しましょう！



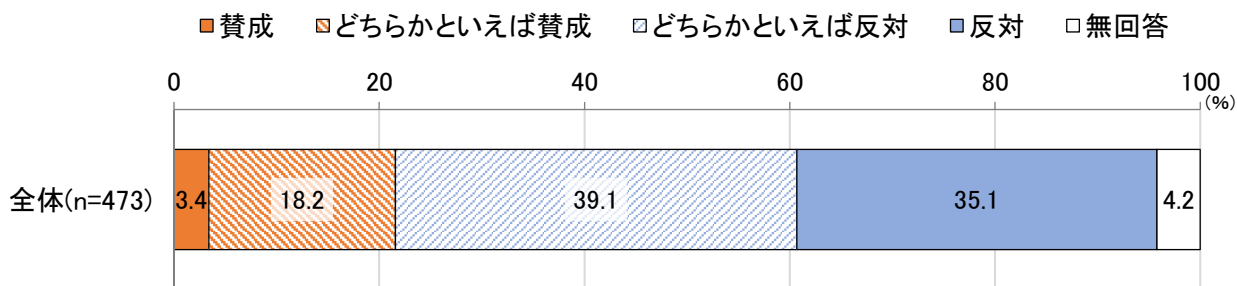
基本目標Ⅳ

【教育・学習の場では】

男女平等教育・学習の環境づくり

性別によって役割を固定する考え方（固定的性別役割分担意識）について、反対意見が7割を超えています。賛成意見も一定数みられます。男女の平等感については、唯一学校教育において5割以上が平等と感じています（p3）。また、男女が共に家事や地域活動等に参加するために必要なこととして、子どもの頃からの家庭教育の割合が高くなっていることから、家庭や学校教育の場での男女平等の意識向上に努め、教育の機会を充実させる必要があります。

性別による役割分担について



資料：令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査

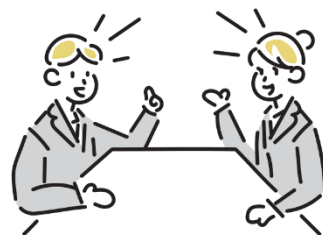


【男女が共に家事や地域活動等に参加するために必要なこと〈上位2つ〉】(n=473)

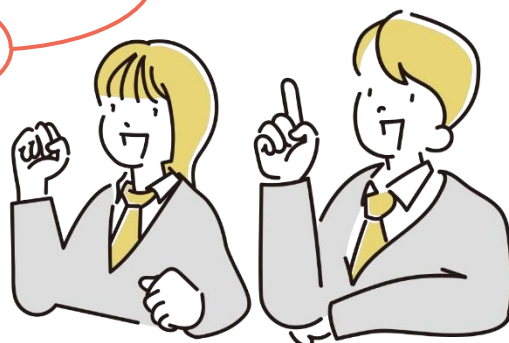
- 1.夫婦や家族間で、コミュニケーションをよくはかること：49.5%
- 2.子どもの頃からの家庭教育：44.4%

【男女共同参画社会の実現のために必要な取組〈上位2つ〉】(n=473)

- 1.男女が共に仕事と子育て・介護などを両立できる支援：45.2%
- 2.男女が共に家庭や地域で活動しやすい環境づくり：41.9%



男女共同参画社会をつくるために、
どんなことができますか？
周りの人と話してみましょう！

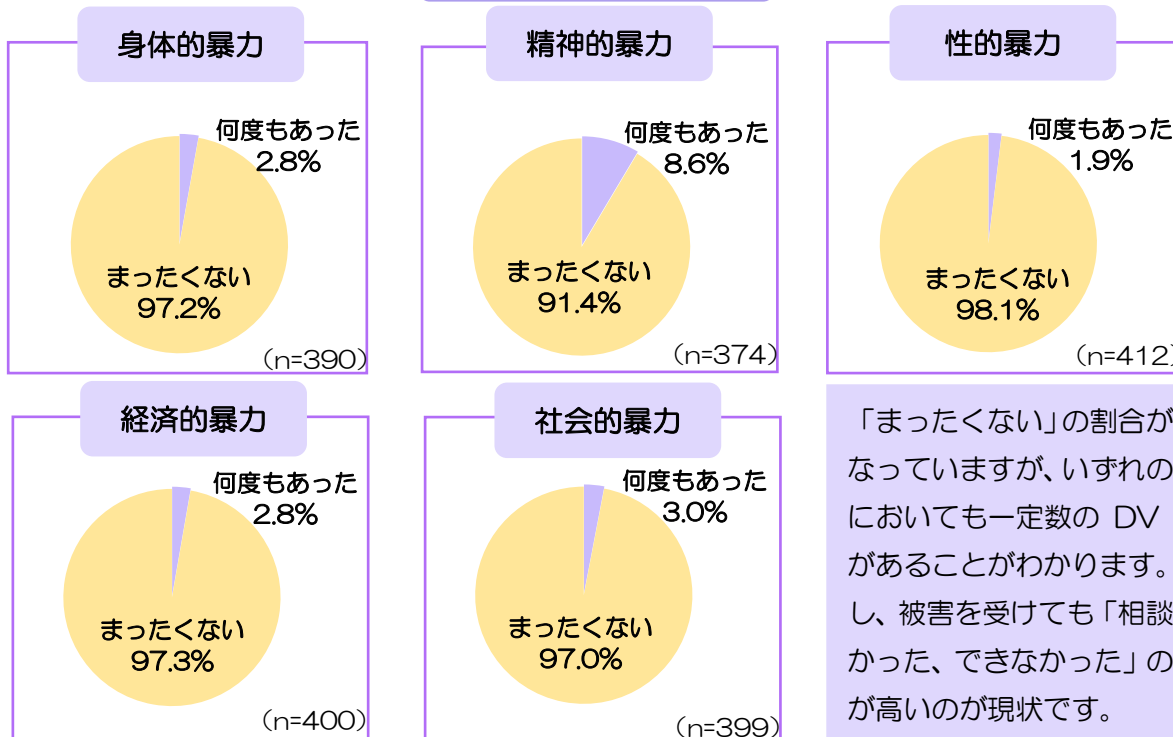


DV（ドメスティック・バイオレンス）

性別にかかわらず、配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力

DVを受けた経験

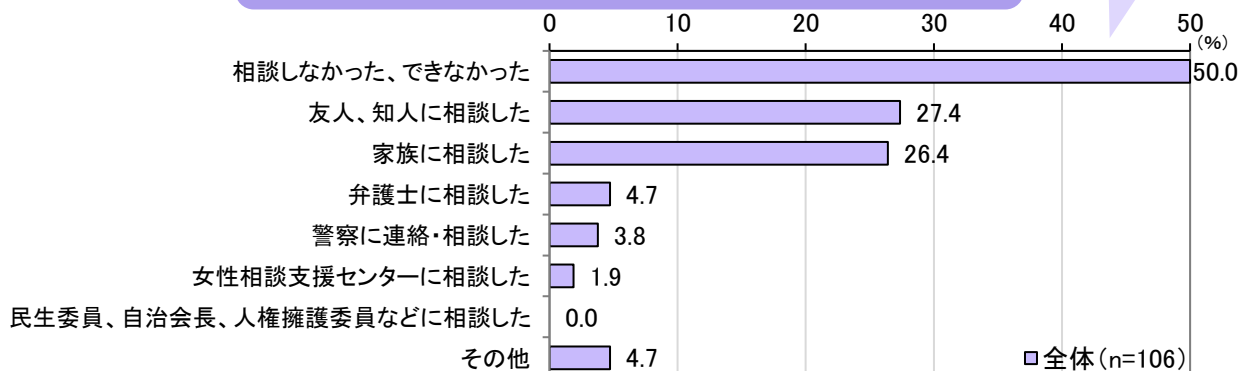
※「何度もあった」、「まったくない」と回答した方で再集計しています。



「まったくない」の割合が高くなっていますが、いずれの項目においても一定数のDV経験があることがわかります。しかし、被害を受けても「相談しなかった、できなかった」の割合が高いのが現状です。

DVについての相談状況

(ひとつでも受けた経験があると回答した方 n=106)



資料: 令和6年度日田市男女共同参画社会づくりのための意識調査

相談窓口

◎配偶者・パートナーからの暴力については（女性）

- ☎097-544-3900【配偶者暴力相談支援センター（女性相談支援センター）】
- ☎#8008（短縮ダイヤル#はれれば）【配偶者暴力相談支援センター（アイネス）】

◎配偶者・パートナーからの暴力については（男性）

- ☎097-534-8614【配偶者暴力相談支援センター（アイネス）】

◎配偶者・パートナーからの暴力、ストーカー等の相談については

- ☎#9110（短縮ダイヤル）【警察安全相談：大分県警察本部広報課 097-534-9110】

◎性暴力被害については

- ☎#8891（短縮ダイヤル#はやくワンストップ）→通話料無料
- ☎097-532-0330【おおいた性暴力救済センター】→通話料有料

【発行】日田市 地域振興課 ☎0973-22-7515 【住所】大分県日田市田島2丁目6番1号